

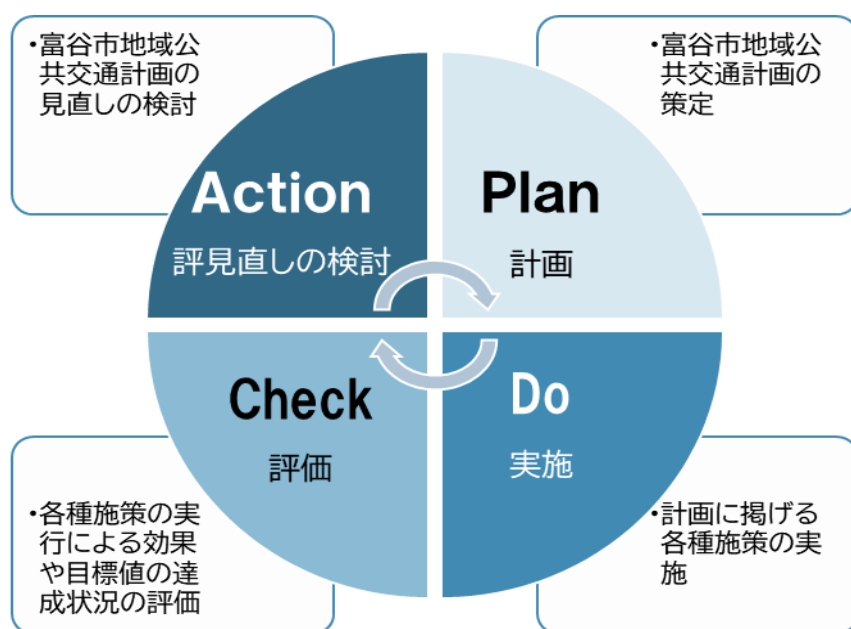
富谷市地域公共交通計画  
事業評価シート（令和7年度実施分）



富谷市企画部企画政策課  
交通政策推進室

## ■富谷市地域公共交通計画の評価（進行管理）について

富谷市地域公共交通計画にて策定した14の施策を推進するため、実施プロセスや課題の共有、施策実施後の評価指標の達成状況の評価検証を踏まえて、適宜改善・見直しを行うP D C Aサイクルにより、進捗管理を行います。



項目	施策実施状況の評価	目標達成度の評価
P l a n /計画	各種施策の検討 運行計画の検討	富谷市地域公共交通計画の策定
D o /実施	地域公共交通の運行 各種施策の実施	計画に掲げる各種施策の実施
C h e c k /評価	運行・利用状況の評価 施策実施効果の評価	各種施策の実行による効果や目標値の達成状況の評価
A c t i o n /改善	運行・サービスの見直し 各種施策の見直し	富谷市地域公共交通計画の見直しの検討

本計画で定めた施策への取り組みの進捗確認や結果の評価・検証を、毎年度「富谷市地域公共交通活性化協議会」において行い、必要に応じて、計画の見直しを行うこととします。

富谷市地域公共交通計画は「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第7条の2の規定に基づき、毎年度、施策の実施状況について調査、分析及び評価を実施することとしております。

◆評価について

(1) 進捗の評価

各事業の進捗度については、以下の3段階を設定します。

「A」…計画以上、または前倒しで実施

「B」…概ね計画通り実施

「C」…遅延・未実施

(2) 施策実施効果の評価（運行利用状況の評価）

各事業の施策の実施効果については以下の3段階を設定します。

「A」…明確な改善が確認できる


「B」…一定の効果が確認できる

「C」…効果が限定的または不明

表 施策体系

基本方針	施策	施策スケジュール	評価一覧	
		2025(R7)～ 2029(R11) 年度	進捗評価	施策実施 効果
【基本方針1】 市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）	施策①：新たな軸となる基幹公共交通の整備	各種調査・検討 関係機関調整	B	B
	施策②：民間バス路線網の再編	随時調整・実施	B	B
	施策③：基幹公共交通の拠点となる交通結節施設の整備	調査・検討	B	B
	施策④：パークアンドライドの推進	調査・検討	B	B
【基本方針2】 市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現（フィーダー交通の強化）	施策⑤：市民バスの再編	再編調整・ 運行改善	A	A
	施策⑥：デマンド型交通の再編	再編調整・ 運行改善	B	B
	施策⑦：ライドシェアの導入	実施検討・導入 運行継続	A	B
	施策⑧：パークアンドバスライドの推進	実施	B	B
	施策⑨：短距離移動を支援する新たな交通の導入	調査・検討	B	C
【基本方針3】 多様な関係者の連携・協働による「使いたくなる交通環境」の実現（利用しやすさの向上）	施策⑩：共通運賃・乗り継ぎ割引の拡充、MaaSの推進	割引の拡充 MaaS導入検討	B	B
	施策⑪：公共交通利用料金の補助	継続	B	B
	施策⑫：市民バスのバス待ち環境の改善	実施	B	A
	施策⑬：普及・啓発活動などのモビリティ・マネジメントの実施	実施	B	A
【基本方針4】 ゼロカーボンシティの実現に向けた交通施策の展開	施策⑭：環境に配慮した次世代モビリティの導入	継続	B	B

基本方針1：市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）

<p>施策</p>	<p><b>①新たな軸となる基幹公共交通の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線交通の強化として、仙台市泉中央駅までの新たな交通軸となる基幹公共交通として、これまで調査検討してきた「地下鉄」「BRT（バス高速輸送システム）」に加え、新たに「都市型自走式ロープウェイ」の導入の可能性を調査し検討します。</li> <li>・民間路線バスを含めた多様な交通手段が選択できる交通環境を整備することにより、周辺都市へのアクセス利便性向上を目指します。</li> <li>・新たな軸となる基幹公共交通の整備について道路渋滞の解消も含め、関係機関・周辺自治体との情報共有・連携を図ります。</li> </ul>
<p>1. 施策の概要</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>写真：Zip Infrastructure(株)</p> </div> </div>

2. 進捗管理状況

実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 80%; border: 2px solid blue; padding: 5px;">関係機関との調整</div> <div style="width: 20%; border: 2px solid blue; padding: 5px;">▶</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="width: 80%; border: 2px solid blue; padding: 5px;">事業実施に向けた各種調査及び検討</div> <div style="width: 20%; border: 2px solid blue; padding: 5px;">▶</div> </div>					

3. 令和7年度の取り組み状況

- ◆「都市型自走式ロープウェイ導入可能性調査」を実施した。  
新たな基幹公共交通の導入に向けた検討の一環として、「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」を実施。本調査では、想定した2ルートにおける地形条件や既存インフラとの関係といった制約条件等を整理・検証した。その結果、現在の地上条件下において、敷設可能という結論を得た。
- ◆公開富谷塾にてZip Infrastructure(株) 須知CEOによる講演会を開催した。  
令和8年3月に開催した公開富谷塾にて自走式ロープウェイ開発者に学ぶ若手起業家講演会を開催し、特徴や可能性等に関してZip社より解説（参加者：市民等約150名）

4. 評価

進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて

令和8年度は、「都市型自走式ロープウェイ」の需要予測を行うと共に、令和7年度に実施した「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」を踏まえて、富谷市内におけるZippar施設の簡易的な配置検討を実施し、課題の抽出や今後の解決に向けた方向性を整理する。

基本方針1：市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）

施 策 ②民間バス路線網の再編

1. 施策の概要

- ・本市の主要な公共交通手段である路線バスについて、路線の維持・確保に向けて関係機関との調整を図ります。
- ・市民バスとのダイヤ連携や乗り継ぎ運行の拡大等バス事業者と公共交通に関する市民ニーズの共有を図り、運行サービスの強化を図ります。
- ・バス停や表示案内の分かりやすさ向上、バス近接情報（運行情報）の周知及び利用促進を図ります。
- ・施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備」にあわせ、一部路線の交通結節点への集約などの検討を行います。
- ・定時運行の妨げとなる幹線道路における渋滞対策について、関係機関・周辺自治体との情報共有・連携を図ります。
- ・市のイベント等における公共交通の利用促進策について周知を図ります。

2. 進捗管理状況

実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール						

3. 令和7年度の取り組み状況

- ◆市民バスと宮城交通バスとのダイヤ連携を実施した。  
市民バスのダイヤ再編を実施したことにより、イオン富谷店における宮城交通バスとの接続便数の増を図った。（計画値36便→現況値41便）（R8.4.1より運行）
- ◆市民バスから宮城交通バスへ乗り継ぎ、泉中央駅まで行く、「乗り継ぎ運行」を実施した。  
・イオン富谷店を結節点として市民バスから宮城交通バスへ乗り継ぎ、泉中央駅まで行く場合、宮城交通バスの運賃が片道100円となる「乗り継ぎ運行」を実施。  
・令和7年3月の運賃改定により、宮城交通バスにおいて「イオン富谷店」～「泉中央駅」が片道390円から440円となり、本市においても負担額を290円から340円に補助額を拡大し、片道100円を維持。  
・令和7年度利用者数 5,468人（令和6年度利用者数：4,160人）

4. 評価

進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて

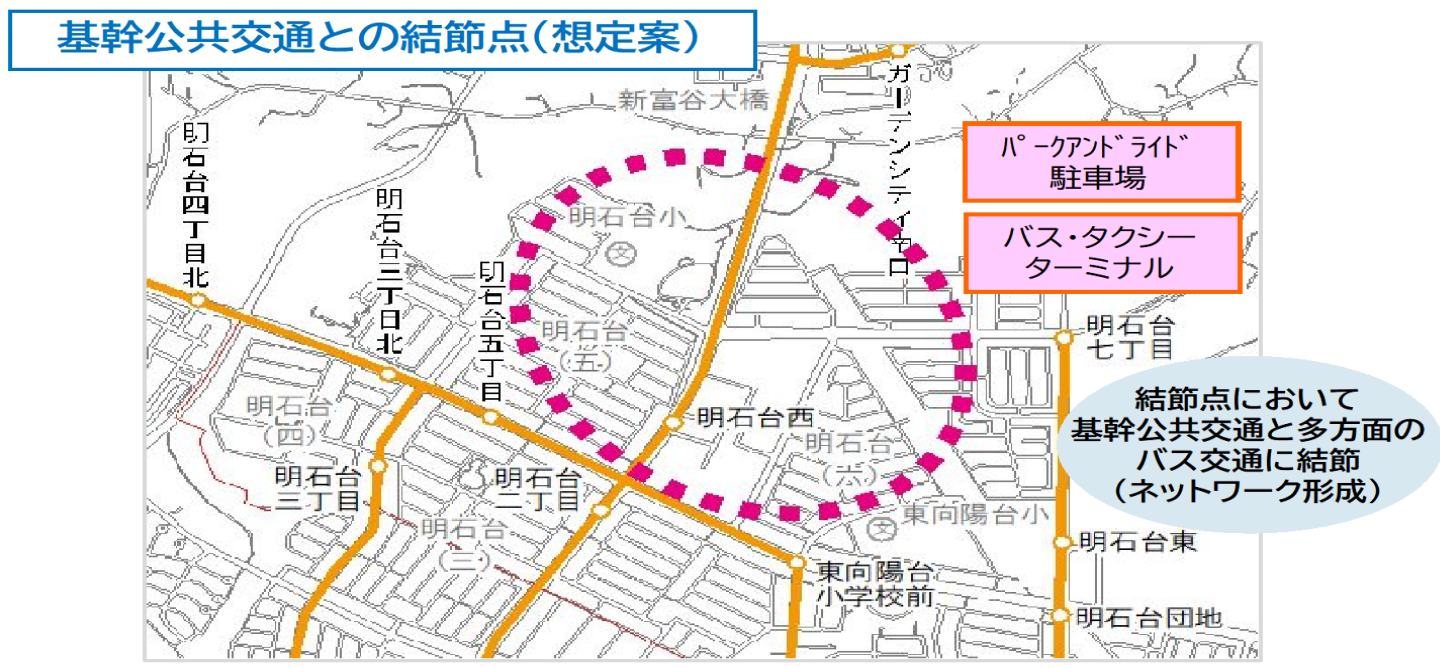
- ・本市の主要な公共交通手段である路線バスについて、引き続き、路線の維持・確保に向けて関係機関との調整を図ります。
- ・「乗り継ぎ運行」については、市民バスの路線再編もあったことから、利用者数の推移を注視しながら、利用促進を図ります。

基本方針1：市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）

施 策 ③基幹公共交通の拠点となる交通結節施設の整備

1. 施策の概要

・施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備」に合わせ、拠点となる明石台地区に、民間路線バス、市民バス、タクシー、パークアンドライド等に対応した交通結節施設の整備を検討します。



2. 進捗管理状況

実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール						

3. 令和7年度の取り組み状況

◆「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」を実施した。  
 新たな基幹公共交通の導入に向けた検討の一環として、「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」を実施し、当該調査において、起終点想定場所や駅舎の必要面積（参考値）についても示された。

4. 評価

進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて

【再掲】  
 令和8年度は、「都市型自走式ロープウェイ」の需要予測を行うと共に、令和7年度に実施した「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」を踏まえて、富谷市内におけるZippar施設の簡易的な配置検討を実施し、課題の抽出や今後の解決に向けた方向性を整理する。

基本方針1：市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）

施策 ④パークアンドライドの推進

1. 施策の概要

・施策③「基幹公共交通の拠点となる交通結節施設の整備」にあわせ、明石台地区において、バス、タクシー等公共交通機関の発着機能の他、一般駐車場を整備し、仙台方面へのマイカー移動者が公共交通を利用できるように検討していきます。

2. 進捗管理状況

実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール	調査・検討					調査・検討

3. 令和7年度の取り組み状況

【再掲】  
 新たな基幹公共交通の導入に向けた検討の一環として、「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」を実施し、当該調査において、起終点想定場所や駅舎の必要面積（参考値）についても示された。


4. 評価

進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて

【再掲】  
 令和8年度は、「都市型自走式ロープウェイ」の需要予測を行うと共に、令和7年度に実施した「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」を踏まえて、富谷市内におけるZippar施設の簡易的な配置検討を実施し、課題の抽出や今後の解決に向けた方向性を整理する。

基本方針2：市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現（フィーダー交通の強化）						
施 策	⑤市民バスの再編					
1. 施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民バスの継続運行と、利用動向を踏まえた運行改善に取り組みます。</li> <li>利用実態調査やアンケート調査によって把握した、遅延等の利用者の不満を解消するための再編案を検討します。</li> <li>富谷市複合図書館「ユートミヤ」や新病院候補地へのアクセス向上を図ります。</li> <li>イオン富谷店における市民バスから低廉な運賃で民間路線バスに乗り継ぎ、泉中央まで行くことができる「乗り継ぎ運行」について、利用方法等の周知啓発を行い、利用者の増加及び泉中央までの利便性の向上を図ります。</li> </ul>					
	施策の期間	短期(~5年)	中期(~10年)	長短期(10年~)		
	施策の方向性	現状の課題を解決し、利便性を向上	路線バスの見直しとの連携、技術革新取入	新たな基幹公共交通軸との連携		
	目指す効果	→需要があるエリアでの運行本数増 →広範囲なエリアをカバーする運行形態	→民間路線バスや各種施設へのアクセスの強化 →MaaS等の活用による使いやすさの向上	→基幹公共交通を中心とする市全域での公共交通網を形成		
2. 進捗管理状況						
実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール	再編調整		運行改善			運行改善
3. 令和7年度の取り組み状況						
<p>◆市民バスの路線調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひより台地区をイオン富谷店まで乗り継ぎなしで行くことができるよう、路線を延伸した。</li> <li>令和7年度市民バス利用者数 103,075人（令和6年度利用者数 95,062人）</li> </ul> <p>◆市民バスの再編調整を実施した。（R8.4.1～運行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民バスアンケート、地域要望及び利用実績を踏まえ、路線・ダイヤについて再編調整を実施した。             <ol style="list-style-type: none"> <li>ユートミヤへの発着回数を23回から44回に増やし、アクセス向上を図った。</li> <li>路線名称について主な経由地を路線名に組み込むことで、行先を分かりやすく表示した。</li> <li>西部循環線について循環型から上下運行へ転換した。</li> <li>太子堂地区についてイオン富谷店まで乗り継ぎなしで行くことができるよう、路線を延伸した。</li> </ol> </li> </ul> <p>◆市民バスから宮城交通バスへ乗り継ぎ泉中央駅まで行く、「乗り継ぎ運行」について実施。【再掲】 令和7年度利用者数 5,468人（令和6年度利用者数：4,160人）</p>						
4. 評価						
進捗の評価	A	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施				
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	A	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的				
5. 令和8年度の取り組みについて						
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年4月1日より、再編後の市民バスダイヤにて運行が開始。アンケートや利用実態等を踏まえ、更なる運行改善を図る。</li> <li>「乗り継ぎ運行」については継続して実施。</li> </ul>						

基本方針2：市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現（フィーダー交通の強化）						
施 策	⑥デマンド型交通の再編					
1. 施策の概要	<p>・市北部や市東部の低密度地域全体をカバーする公共交通として、利用状況を分析し、利用者ニーズに柔軟に対応した運行形態の改善や市民バス再編と連動した運行エリアの見直し等を適宜行います。</p>					
						
	<p>図 デマンド型交通車両</p>					
2. 進捗管理状況						
実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール						
3. 令和7年度の取り組み状況						
<p>◆デマンド型交通でアクセスできる指定乗降ポイントの追加を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな移動ニーズが見込まれるため、令和8年5月開館のユートミヤ（富谷市複合図書館）を指定乗降ポイントに追加した。</li> <li>・富谷市に所在していた「JA新みやぎ」が令和5年7月に廃止し、大和町へ移転してから、利用者より乗降場所として利用できるよう要望が寄せられていたため、当該支店において指定乗降ポイントに追加した。</li> <li>・R7年度デマンド型交通利用者数 1,861人（R6利用者数：1,756人）</li> </ul>						
4. 評価						
進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施				
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明				
5. 令和8年度の取り組みについて						
デマンド型交通は現在、市北部及び東部地区に利用対象区域を限定しているが、当該地域以外の交通空白地帯について整理をし、利用対象区域の拡大について検討を行う。						

基本方針2：市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現（フィーダー交通の強化）

施 策	⑦ライドシェアの導入
1. 施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通の「担い手」「移動の足」不足解消のため、令和6年3月、タクシー事業者の管理の下で、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供をすることが可能となりました。（いわゆる「日本版ライドシェア」）</li> <li>・また、市町村やNPO法人等が実施主体となり、自家用車を活用して実施するいわゆる「公共ライドシェア」についても、高齢化や免許返納に対する意識の高まりが進む中で、日常的な買い物や通院等の足として、交通空白の解消に向けて国が推進しており、本市においても今後導入について検討していきます。</li> </ul>

2. 進捗管理状況						
実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール	→ 実施検討・導入			→ 運行継続		→ 運行継続

3. 令和7年度の取り組み状況

◆ 「とみや公共ライドシェア」の実証運行を実施した。  
 国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用し、市民バス及びデマンド型交通の運行終了後の夜間時間帯の交通空白を解消するため、市民ドライバーによる自家用車を活用した「とみや公共ライドシェア」の実証運行を実施した。

★実施概要

実証期間：令和7年11月26日～12月25日（毎週水・木・金曜日 計14日間）  
 運行時間：18時～24時 料金：1kmまで500円。以降、180mごとに50円加算  
 運行エリア：富谷市内全域

★利用実績：アプリ登録者数134人 乗車人数46人 運行回数32回





4. 評価

進捗の評価	A	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明


5. 令和8年度の取り組みについて

夜間の交通空白解消という目的に対し、一定の効果が得られた一方で、アンケートにおいて最も多くの要望が寄せられた「泉中央駅」へのアクセス確保は最大の課題である。加えて、高齢者を中心としたアプリ操作への不安や、現金決済の要望といったことへの対応についても、本格導入に向けた要件として残されており、運行計画の再考を含め、検討を進める。

基本方針2：市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現（フィーダー交通の強化）

施 策	<p><b>⑧パークアンドバスライドの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン富谷店におけるパークアンドライドの実施について、周知啓発を行い、仙台方面への通勤・通学の手段について、自家用車からバス利用への転換を促進することで、渋滞緩和や環境負荷の軽減を図ります。</li> <li>・イオン富谷店におけるサイクルアンドバスライドを実施し、周知啓発により利用者促進を図ります。</li> </ul>
1. 施策の概要	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p style="text-align: center;"><b>パークアンドライド サイクルアンドバスライド</b></p>  </div>  </div> <p style="text-align: right;">図 イオン富谷店駐車場</p>

2. 進捗管理状況						
実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール	実施検討・導入			運行継続		運行継続

3. 令和7年度の取り組み状況	
<p>◆「パークアンドバスライド」及び「サイクルアンドバスライド」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン富谷店にて、自家用車または自転車から路線バス（宮城交通）に乗り換えて、仙台市方面への通勤・通学をする、パークアンドバスライド及びサイクルアンドバスライドを令和7年4月より開始。</li> <li>・令和7年度パークアンドバスライド登録者数 6人</li> <li>・令和7年度サイクルアンドバスライド登録者数 4人</li> </ul>	
	

4. 評価		
進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて	
利用者特典である「3,000円の商品券」について、令和7年度まではパークアンドバスライド利用者のみを対象としていたが、令和8年度より、サイクルアンドバスライド利用者についても対象を拡大し、登録者の拡大を図る。	

基本方針2：市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現（フィーダー交通の強化）

**施策** ⑨短距離移動を支援する新たな交通の導入

1. 施策の概要

- ・大清水地区・イオン結節点を中心とした短距離モビリティ導入のため、イオン富谷店における施設整備、車両調達、利用周知などの研究を行います。
- ・交通結節点として整備する明石台地区において、小型モビリティの結節点としても機能するため、施設整備、車両調達、利用周知などの研究を行います。

車両	TYPE-A	TYPE-B	TYPE-C	TYPE-D
主な活用局面	・都市部、郊外部問わず、近距離の日常的な交通手段	・観光地・商業地での回遊・周遊 ・訪問介護 ・防犯パトロール	・小規模配送やポーターサービス	・限定エリアでの低速域の移動
ユーザ像	・通勤・通学 ・子育てママ・パパ	・観光客 ・巡回事業	・宅配など法人	・高齢者
既存の移動手段	・自転車 ・スクーター ・徒歩	・乗用車/レンタカー ・バス ・タクシー	・商用バン・トラック ・2輪/3輪	・自転車 ・シニアカー ・徒歩
キーベネフィット	・2輪並みの駐車スペース ・転倒しない ・風雨がしのげる ・ヘルメット不要	・コンパクト(取り回しの良さ) ・乗降性 ・転倒しない ・風雨がしのげる	・コンパクト(停車時に邪魔にならない) ・小回り ・乗降性 ・転倒しない ・風雨がしのげる	・気軽さ ・地域の活性化
車両イメージ	・全幅<100cm程度 ・2人乗 ・ドア要 ・100V充電 ・航続距離30~40km程度	・全幅<130cm程度 ・2~3人乗 ・航続距離50~100km程度	・全幅<130cm程度 ・1人乗 ・積載量100kg程度	・全幅<130cm程度 ・1~2人乗 ・最高速度≤XXkm/h(低速)

出典：国土交通省




図 シェアサイクル




図 電動キックボード

2. 進捗管理状況

実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール	調査・検討					都市拠点での導入

3. 令和7年度の取り組み状況

◆シェアサイクルサービスについて調査を行った。  
アプリを活用し、無人で自転車の貸出を行うシェアサイクル制度について調査・研究を行った。

4. 評価

進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	C	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて

- ・他自治体の事例調査を行い、引き続き調査・検討を実施する。

基本方針3：多様な関係者の連携・協働による「使いたくなる交通環境」の実現（利用しやすさの向上）

施策 ⑩共通運賃・乗り継ぎ割引の拡充、MaaSの推進

1. 施策の概要

- ・市民バスと民間路線バスを乗り継ぐ際の運賃割引を検証します。
- ・路線バスの市内移動について、ゾーン制運賃の検討をします。
- ・ルート検索や予約、決済をシームレス化する一元的なサービスであるMaaSの推進を検討し、交通事業者や商業・観光施設等の連携を進めます。

○市民バスと宮城交通バスとの乗継

【乗り継ぎ方法と流れ】

①市民バスを利用し、宮城交通バス「イオン富谷店」乗り継ぎ場で降車する際に、運転手から「路線バス往復乗車補助券」を受け取ります。

②宮城交通バス「イオン富谷店」バス停から乗車し、「整理券」を受け取ります。

③泉中央駅で降車する際に「路線バス往復乗車補助券」を1枚切り取り「整理券」「利用者負担額」と一緒に運賃箱に入れます。

④帰りは「泉中央駅」から「イオン富谷店」まで宮城交通バスを利用し「イオン富谷店」で降車する際に、残りの「路線バス往復乗車補助券」「整理券」「利用者負担額」を一緒に運賃箱に入れます。宮城交通バス降車後、乗り継ぎ場にて市民バスに乗り、最寄りのバス停留所までご利用ください。

2. 進捗管理状況

実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール	割引の拡充・MaaS導入検討					継続

3. 令和7年度の取り組み状況




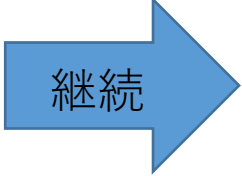
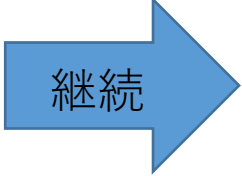
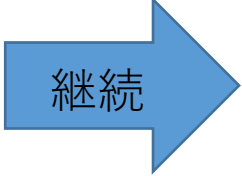
- ◆市民バスから宮城交通バスへ乗り継ぎ泉中央駅まで行く、「乗り継ぎ運行」について実施。【再掲】  
令和7年度利用者数 5,468人（令和6年度利用者数：4,160人）
- ◆市民バス時刻表を乗り換え情報サービスへ掲載  
GoogleMap、駅すばあと、Yahoo!路線情報、ジョルダンに市民バスの時刻、路線情報について掲載した。

4. 評価

進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて

- ・「乗り継ぎ運行」について、利用者数も増加しており、引き続き、実施していく。
- ・引き続き、「乗り換え情報サービス」に市民バスの路線情報を掲載していく。

基本方針3：多様な関係者の連携・協働による「使いたくなる交通環境」の実現（利用しやすさの向上）																				
施策	⑪公共交通利用料金の補助																			
1. 施策の概要	<p>・高齢者や免許返納者、障がい者の外出施策として、「とみぱす」及び市民バス無料乗車の取り組みを実施します。</p> <p style="text-align: center;"><b>富谷市で実施している外出支援策</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;"><b>高齢者・障害者外出支援策「とみぱす」</b></p> <p>○対象者：各年4月1日時点で下記①～③に該当する方</p> <p>① 70歳以上の方</p> <p>② 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している18歳以上の方</p> <p>③ 転免許を自主返納した60歳以上の方</p> <p>○対象交通手段： 宮城交通、仙台市地下鉄、仙台市営バス、SuicaエリアのRJR線、富谷市民バス等</p> <p>○助成額：年間2万円（うち1割自己負担）</p>  </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;"><b>富谷市民バス無料乗車証</b></p> <p>○対象者：70歳以上の方、障がいをお持ちの方、運転免許を自主返納した60歳以上の方</p> <p>○対象交通手段：富谷市民バス</p> <p>※自己負担額はなし</p>  </td> </tr> </table>						<p style="text-align: center;"><b>高齢者・障害者外出支援策「とみぱす」</b></p> <p>○対象者：各年4月1日時点で下記①～③に該当する方</p> <p>① 70歳以上の方</p> <p>② 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している18歳以上の方</p> <p>③ 転免許を自主返納した60歳以上の方</p> <p>○対象交通手段： 宮城交通、仙台市地下鉄、仙台市営バス、SuicaエリアのRJR線、富谷市民バス等</p> <p>○助成額：年間2万円（うち1割自己負担）</p> 	<p style="text-align: center;"><b>富谷市民バス無料乗車証</b></p> <p>○対象者：70歳以上の方、障がいをお持ちの方、運転免許を自主返納した60歳以上の方</p> <p>○対象交通手段：富谷市民バス</p> <p>※自己負担額はなし</p> 												
<p style="text-align: center;"><b>高齢者・障害者外出支援策「とみぱす」</b></p> <p>○対象者：各年4月1日時点で下記①～③に該当する方</p> <p>① 70歳以上の方</p> <p>② 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している18歳以上の方</p> <p>③ 転免許を自主返納した60歳以上の方</p> <p>○対象交通手段： 宮城交通、仙台市地下鉄、仙台市営バス、SuicaエリアのRJR線、富谷市民バス等</p> <p>○助成額：年間2万円（うち1割自己負担）</p> 	<p style="text-align: center;"><b>富谷市民バス無料乗車証</b></p> <p>○対象者：70歳以上の方、障がいをお持ちの方、運転免許を自主返納した60歳以上の方</p> <p>○対象交通手段：富谷市民バス</p> <p>※自己負担額はなし</p> 																			
2. 進捗管理状況	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">実施期間</td> <td style="width: 15%;">R7</td> <td style="width: 15%;">R8</td> <td style="width: 15%;">R9</td> <td style="width: 15%;">R10</td> <td style="width: 15%;">R11</td> <td style="width: 15%;">R12以降</td> </tr> <tr> <td>計画上のスケジュール</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">  </td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>						実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降	計画上のスケジュール						
実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降														
計画上のスケジュール																				
3. 令和7年度の取り組み状況	<p>◆「とみぱす」、「富谷市民バス無料乗車証」の取り組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とみぱす 令和7年度発行実績 350名</li> <li>・富谷市民バス無料乗車証 令和7年度発行実績 759名</li> </ul>																			
4. 評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">進捗の評価</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">B</td> <td style="width: 60%;">                     A：計画以上、または前倒しで実施                      B：概ね計画通り実施                      C：遅延・未実施                 </td> </tr> <tr> <td>施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td>                     A：明確な改善が確認できる                      B：一定の効果が確認できる                      C：効果が限定的または不明                 </td> </tr> </table>						進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施	施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明								
進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施																		
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明																		
5. 令和8年度の取り組みについて	<p>高齢者・障がい者外出支援策「とみぱす」及び「富谷市民バス無料乗車証」について、引き続き取り組みを実施する。</p>																			

基本方針3：多様な関係者の連携・協働による「使いたくなる交通環境」の実現（利用しやすさの向上）



施策

⑫バス待ち環境の改善

1. 施策の概要

- ・バス停における待合環境向上（屋根やベンチの設置、広告掲載による財源確保、時刻表等表示）の検討、整備します。
- ・利用者の利便性向上の取組として、市民バスの現在地や到着見込が分かるバスロケーションシステムを導入します。

2. 進捗管理状況

実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール						

3. 令和7年度の取り組み状況

- ◆バスロケーションシステムを令和7年10月より導入。  
令和7年度アクセス件数：4,456件（月平均約744件）



【バスロケーションシステム画面】

4. 評価

進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	A	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて

- ・市民バスのバス停時刻表表示板について、老朽化し破損・汚損しているものに修繕を実施。
- ・市民バスに車内の混雑状況をリアルタイムで反映する乗降カウントシステムを導入し、令和8年10月より稼働予定。

基本方針3：多様な関係者の連携・協働による「使いたくなる交通環境」の実現（利用しやすさの向上）

施策

⑬普及啓発活動などのモビリティマネジメントの実施


1. 施策の概要

・マイカー移動が当たり前の生活スタイルから公共交通利用を中心とした生活スタイルへの転換に向け、関係課との連携を図り、モビリティマネジメントに関する情報発信を行うとともに、職場や学校等でのモビリティマネジメントを企画・実施します。

・高齢者の免許返納、交通安全確保の観点からも、地域における公共交通の利用促進や生活スタイルの転換に向けた取り組みを進めます。

・⑫施策「バス待ち環境の改善」におけるバスロケーションシステムの導入にあたり、使い方について、地域での説明会を実施します。

2. 進捗管理状況

実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール						

3. 令和7年度の取り組み状況

- ◆デマンド型交通の周知活動を実施。  
令和8年2月 ニノ関町内会にて、デマンド型交通の周知活動を実施。新たに9名が追加登録。
- ◆市民バス路線再編に伴い、各種交通施策について広報とみや3月号にて特集ページを掲載した。
- ◆富谷高校新入生説明会にて、富谷市民バスについての周知チラシを配布した。



【ニノ関町内会での周知活動の様子】




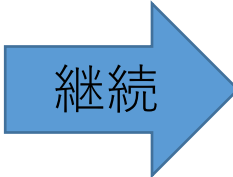
【広報とみや3月号】

4. 評価

進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	A	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明

5. 令和8年度の取り組みについて

継続して、情報発信等を実施する。

基本方針4：ゼロカーボンシティの実現に向けた交通施策の展開						
施 策	⑭環境に配慮した次世代モビリティの導入					
1. 施策の概要	<p>・本市では、運輸部門におけるエネルギー消費量が多いことから、公共交通における環境に配慮した技術（FC・EVバスやEVカー、自動運転等）の活用を検討します。</p> <p>・現在運行しているFCバス（燃料電池バス）は水素と空気中の酸素の化学反応により発電した電気の力で走行するため、走行時にCO2や環境負荷物質を排出しないことから、FCバスの利用やイベントでの啓発を通して、市民の環境に対する意識の高揚を図ります。</p>					
2. 進捗管理状況						
実施期間	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
計画上のスケジュール						
3. 令和7年度の取り組み状況						
<p>◆路線バスとしてFC（燃料電池）バスの運行を行った。 平日は上桜木大清水線、土日祝日は新富谷ガーデンシティ線・上桜木大清水線として市内を運行し、運輸部門における脱炭素の取組の1つとして実施した。</p> <p>◆イオン富谷店にてFCバスの展示イベントを実施した。 令和7年8月にFCバスの展示イベントを行い、FCバスの仕組みや災害時の利活用について周知・啓発し、FCバスや水素エネルギーの普及に向けた取組を実施した。（参加者158名）</p>						
4. 評価						
進捗の評価	B	A：計画以上、または前倒しで実施 B：概ね計画通り実施 C：遅延・未実施				
施策実施効果の評価 (運行利用状況の評価)	B	A：明確な改善が確認できる B：一定の効果が確認できる C：効果が限定的または不明				
5. 令和8年度の取り組みについて						
<p>・引き続き、FCバスの路線運行や普及・啓発イベントを実施。</p> <p>・次世代モビリティの導入に向けて、EV車等の販売状況等について調査・検討を実施。</p>						

★富谷市地域公共交通計画の評価指標について

評価指標	算出方法	計画策定時の値	目標値 (R11)	R7実績値	備考
1.地域公共交通の分担率	〔鉄道〕 R2国勢調査による通勤者・通学者(15歳以上)の利用交通手段が「鉄道・電車」の割合	11.3% (3,511人÷31,058人)	11.5% (3,581人÷31,058人)	—	R7国勢調査において調査項目に記載なし(10年毎の大規模調査にて実施)
	〔バス〕 R2国勢調査による通勤者・通学者(15歳以上)の利用交通手段が「乗合バス」の割合	10.2% (3,158人÷31,058人)	10.4% (3,221人÷31,058人)	—	R7国勢調査において調査項目に記載なし(10年毎の大規模調査にて実施)
2.地域公共交通の利用者数	〔民間路線バス〕 令和5年度の民間路線バス利用者数	2,403,575人	2,571,800人	2,586,755人	
	〔市民バス〕 令和5年度の市民バス利用者数	85,866人	92,000人 (総合計画による目標値)	103,075人	
	〔デマンド型交通〕 令和5年度のデマンド型交通利用者数	1,733人	1,900人	1,861人	
3.地域公共交通に対する満足度	「富谷市まちづくり市民アンケート」の「公共交通機関が利用しやすく便利である」の「満足・やや満足」の満足度の割合	13.2% (157人÷1,193人)	14.5% (173人÷1,193人)	—	
4.市民バスから民間路線バスへの乗継ぎ利用者数	「イオン富谷店」での市民バスと民間路線バスの乗継ぎ利用者数	3,894人	4,200人	5,468人	
5.市民バスから民間路線バスへの乗継ぎに係る平均待ち時間	「イオン富谷店」における市民バスと路線バスの乗継ぎに係る平均待ち時間	15分	14分	15分	
6.市民バスから民間路線バスへの接続便数	市民バスから路線バス(往路)と路線バスから市民バス(復路)の接続便数	36便	40便	36便	R8.4.1ダイヤ改正にて達成(41便)
7.市民バスの運行便数	市民バスの1日あたりの運行便数	41便	45便	40便	R8.4.1ダイヤ改正にて達成(45便)
8.利便施設のあるバス停の割合	利便施設(上屋・ベンチ)のある市民バス停留所の割合	22.8% (26÷114)	25.4% (29÷114)	22.8%(26÷114)	
	利便施設(上屋・ベンチ)のある民間路線バス停留所の割合	42.6%(29÷68)	47.1%(32÷68)	38.5%(27÷70)	
9.観光客数(入込観光客数)	「観光統計概要」による年間観光客入込数	231,688人	254,900人	— (R6:206,711人)	R7未公表
10.免許返納者数の拡大	「市町村別年齢層別運転免許自主返納状況」より算出	94人	103人	87人	
11.FC・EVバス・EV車両等の導入	FC・EVバス・EV車両等の導入車両数	1台	2台	1台	
12.自家用車分担率の縮小	R2国勢調査による通勤者・通学者(15歳以上)の利用交通手段が「自家用車」の割合	62% (19,247人÷31,058人)	60.7% (18,862人÷31,058人)	—	R7国勢調査において調査項目に記載なし(10年毎の大規模調査にて実施)